

平成28年度 学校評価実施報告書

学校名(京都市立梅津中学校)

1 1回目評価

・個別評価項目の設定及び各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定			
分野	評価項目	(前年度評価を踏まえた) 自校の取組	(取組結果を検証する) アンケート項目・各種指標
確かな学力	授業改善によるわかる授業の創造	校内研究授業/協同学習の研究推進/校外研修への積極的参加/小中連携	アンケート「学校の授業はわかりやすいか」/学習確認プログラムの結果
	家庭学習の習慣化	「自学自習のすすめ」作成と家庭配布/宿題の増量/自主性の育成	アンケート「宿題はできている・家庭学習には毎日取り組んでいる」
	授業規範の確立	校内巡視体制の継続/授業の規律10箇条の作成と徹底/生徒会の取組	ベル着や授業改善への取組結果/アンケート「学校のルール守っている」
豊かな心	いじめが起きない学級集団づくり	学級経営力向上/クラマネの活用/梅津の志徹底/いじめ防止基本方針の周知	アンケート「いじめはいけない・悪いことは悪いといえる」
	「いいことばの日」への理解と定着	毎月15日の生徒会の呼びかけとそれに呼応する担任の働きかけ	終学活の振り返り/アンケート「友達に優しい言葉をかけてくれる」
	道徳教育の充実	学年道徳・交流道徳・全校道徳等の実施と振り返り/校内研修会	道徳学習シートの点検/アンケート「自分にはいいところがある」
健やかな体	基本的な生活習慣の確立	生活習慣アンケート/朝食とろうぜキャンペーン/遅刻・ベル着についての取組	アンケート(朝食は毎日とる)・就寝時間と起床時間調査
	体力・運動能力の向上	体育授業の充実/部活指導の充実と支援体制づくり	体育授業の評価/部活に関するアンケート/公式戦の結果
独自の項目	小中一貫教育の推進	夏季小中合同研修会/小中交流会/小中合同研究授業・研究協議会	小中合同研修会後の職員アンケート・学習確認プログラム
	愛校心の育成	集会の工夫/梅津の志の唱和/校歌を歌う/体育大会・文化祭の工夫	アンケート「梅津中を誇りに思う・他の学校とは違う特色がある」
	情報発信の充実	積極的なホームページの活用/ホームページの活用/学級・学校だより発行	学校ホームページのアクセス数・保護者や地域の皆様からの意見



・アンケート実施結果, その他指標の結果について整理	自己評価	
	評価日	平成28年10月19日
	評価者・組織	職員会議(研修会)
アンケート結果・各種指標結果	分析 (成果と課題)	分析を踏まえた改善策
学習確認プログラム・全国調査に於いて京都市平均に届かず。保護者アンケート結果も僅かに低下。全く家庭学習をしない生徒は平日で全国の2倍、休日では3倍いる。	基礎・基本が徹底されない中、協同的な学習を取り入れ、学習の定着を図る繰り返しができなくなっている。自身の力で家庭学習は出来ないが、宿題はやる。何をどうすればいいのか、わからないし教材もない	全員参加の活動的な授業の進め方の工夫や研修を積み、授業終盤にまとめやふりかえりを確実にやる。宿題はやる。学校で家庭学習の材料を用意する。ただし個々に適する課題を細かく提供するのは難
ベル着違反者が減少。授業中に起こるトラブルの減少。ただしエスケープや保健室通いは減らない。	家庭の悩みや友人間・男女間のトラブルを持ち込み手回りが多い。ではないか。	これまで通り生徒会の取組を支援する。個々に寄り添い、課題に応じた細かな関わりを大切にしている
どんなことがあってもいじめはいけない、と回答した生徒が、はじめて全国や京都府平均を超えた。	担任の学級経営力が上がりどのクラスも生徒にとって居心地がよくなっているのではないかと。	生徒会の目指す「梅津の志の徹底」と「いいことばの日」の進化」を強力に支援する。
地生連の強力により「いいことばの日」地域全体へ展開。	小中連携した取組が功を奏してきて、小中学生の模範的な行動が地域で認められてきているので	毎月の取組がマンネリ化しないように意識をする。担任の1日の振り返りを大切にする。
自分の考えを深めたり、友達と話し合ったりすることができていると回答した生徒が全国・京都府平均	全校道徳や持ち回りの道徳など、担任以外の行う道徳の時間が増えたからでは。	多様な考えや意見を聞く機会として、今後も道徳は担任が授業、という概念を通り抜く。
朝食を食べない生徒、寝る時間が遅く、不規則な生徒が多い。	ビデオ・ゲーム・ネット・メールなどに使われる時間が、圧倒的に多い。	ビデオ・ゲーム・ネット・メールなどに使う時間の制限を、学校から提案してはどうか。
夏季大会、女子剣道部以外すべて初戦を突破。突出した結果はないが、どの部も充実した活動ができた。	体育の授業が比較的安定して行われ、体育大会も昨年度以上に盛り上がり、適度な競争もできていた。	家庭生活の基本的習慣の確立を目指し、心も体も健康な状態を目指す。
小中合同研修会・研究授業アンケートで、盛んな意見交換が行われ、アンケートでも充実感がわかった。	小中一貫した学習のルール作りなどが進み、課題や目標が明確になってきた。	多くの前向きで具体的な取組の提案の中から、精選した上で実行に移す。
生徒会選挙立候補者の演説やそれを聞く生徒たちから、梅津中学校をもっとよくなりたいという気持ち	全校集会を少しずつ生徒の手に委ね、やらされる学校から、自分たちが中心の学校の雰囲気が出ていく。	行事や取組を生徒の力で進め、教師が前に行きたくない。そと陰で強力に支援し成功体験を積みませ
ホームページ・通信・配布物・担任からの連絡が適切で学校の様子よくわかる、という保護者の割合が	とくに学級通信の内容の評価が高く、家庭連絡も細かいからでは。ただし担任の時間的・精神的な負担	個人情報には充分注意をしつつ、学校の様子のホームページアップ回数を増やす。



学校関係者評価	
評価日	平成28年10月27日
評価者 (いずれかに○)	○学校運営協議会 学校評議員
学校関係者による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策
基礎的・基本的な内容の定着が重要。読書習慣の定着に向けた取組が必要。	図書館利用の促進や朝読書の本の整備などの支援を行いたい。
家庭学習の定着に向けた地域や家庭に向けた働きかけが必要。	家庭学習時間の少なさに家庭学習習慣の定着に向けた支援を行う。
授業規範等の小中一貫したルール作りは良いが、中学校はもう少しレベルを上げてほしいのでは。	授業だけに限らず世の中の色んなルールに対する意識の向上を地域一帯で大切にしたい。
いわゆる普通の目立たない生徒の考えや気持ちを大切に汲み取るように。	地域でも児童・生徒の様子についてもっと関心を持って見ていく。
地域一帯の取組として高く評価。	地生連だけでなく、自治連等でも、取組意図について広め、地域全体で応援する。
地域での生徒の行動の様子や学校の各種アンケートを見ると評価できる。	地域でも児童・生徒の様子についてもっと関心を持って見る。
学校から、ビデオ・ゲーム・ネット・メールなどの時間や学習の時間など、具体的に発信しては。	地域の会合や集会等でも、学校の危機感の部分について触れる。
部活動は活発に行われていると感じる。	地域の体育的行事に、中学生の参加をもっと呼びかけていく。
小中だけでなく、幼・保、さらに近隣支援学校等との連携についても検討が必要。	幼保小中・支援学校等の連携について、必要な協力を行う。
小学校から本校への進学率も高く、地域全体から本校への信頼は高い。	梅津地域の教育の中心として、必要な支援を行う。
年々がんばっている学校や生徒への関心は高まっており、積極的な発信をのぞむ。	行事等の地域への広報等、積極的に支援を行う。

